

応答的保育に関する研究

— 「延滞模倣」から「ごっこ遊び」へ —

飯田恵津子(筑紫郡青葉保育園) 大里美保子(筑紫郡青葉保育園) 宮原英種(福岡教育大学) 宮原和子(近畿大学女子短期大学)

子どもの遊びに適した最適水準の応答性のある保育環境を設定することをめざす応答的保育にとって一つの重要な課題は、その遊びがどのように変化し、発達をとげていくかを知ることである。前回の研究(飯田、大里、宮原、1986)においては、Uzgiris-Huntの「物に対するシエマの発達」の過程を基本として作成された発達モデルに基づいて感覚運動のほぼ終期までの発達を3名の保育園児を対象に研究した。

今回の研究は、そのあとに現れると考えられる「延滞模倣」と「ごっこ遊び」をとりあげ、前者から後者への発達過程について考察する。

方 法

1歳0か月から2歳0か月までの12名の幼児を対象に日常の保育場面で直接模倣行動、延滞模倣、ごっこ遊びをそれぞれ6項目の行動について観察し、それを分析

した。

結果と考察

表1は12名の幼児が直接模倣、延滞模倣、ごっこ遊びの所定の行動項目でそれらを成し遂げたかどうかを観察した結果をあらわすものである。それによると、1歳0か月から1歳2か月の子ども(3名)は、直接模倣も、延滞模倣も、ごっこ遊びもほとんどおこなうことはできない。そのあとの年齢になると、直接模倣はほとんど可能になる。それに対して、延滞模倣は、1歳8か月以降になると、ほぼできるようになる。しかし、ごっこ遊びは、1歳11か月から2歳0か月になっても、これらの行動項目で示されている行動については、ほぼその半数をおこなうことができるだけである。事例1と事例2は、1歳3か月のD児と1歳11か月のK児の各行動項目についての行動事例を示したものである。

事例1 各行動項目における直接模倣、延滞模倣、ごっこ遊びの事例(D児の場合)

観	でカ	直接模倣	保育が鏡の前でケープを肩にかけ、"きれいきれいね"といいながら櫛で髪をといてみせる。D児は保育がおいたその櫛とケープを手に取り、まずケープを肩にかけ、櫛で髪をとく。
	髪ガ	延滞模倣	観察なし
	をミ	ごっこ遊び	観察なし
察	のく	直接模倣	D児のみている前で、保育が電話の受話器をとって話をする。それをみていたD児が受話器を欲して指さしたので、それを手渡すと、D児は耳にあててニコニコと喜びの表情を示す
	前	延滞模倣	観察なし
		ごっこ遊び	観察なし
項	電	直接模倣	保育がD児の前に立って、買い物のかごを腕にかけて"いってきます"という。それを見たD児はあたりをみまわして買い物のかごを探し、保育のうしろについて歩く。
	話	延滞模倣	翌日、D児自ら買い物のかごを腕にかけて、"バイバイ"といいながら、保育室を歩きまわる。
	をす	ごっこ遊び	両方の手にそれぞれ買い物のかごをかけて歩く。保育が"いってらっしゃい"と声をかけると、"バイバイ"と手を振って応え、床に落ちていたブロック、雑巾を見つけてかごにつめる。
目	買	直接模倣	保育が人形を抱いて"よしよし"といいながらあやしているのを見て、D児は保育室にあるおもちゃ箱から人形を取ってきて抱き、手の先でトントンと叩いてあやす様子をみせる。
	い	延滞模倣	5日後、D児は人形を抱いて保育のところにきて人形を保育へさしだす。保育が人形を受けとりあやすと、D児は人形を保育からとりあげて抱きしめたり、顔をくつつける。
	物	ごっこ遊び	観察なし
目	をす	直接模倣	保育が雑巾をもって"ゴシゴシしようね"といいながら壁を拭いているのを見て、D児は手にもっていたオモチャを捨てて、部屋の隅にある雑巾を取ってきて保育の側で壁を拭き始める。
	る	延滞模倣	3週間後、自由あそびのとき、雑巾をみつけてその雑巾を上下に動かしながら、壁を拭いているような様子をみせる。
		ごっこ遊び	観察なし
真	似鉄	直接模倣	D児の前で保育が指で鉄砲を打つようなしぐさを示しながら、"バンバン"という。それをみて、D児は人さし指を出して、口を大きくあけながら模倣する。
	砲	延滞模倣	観察なし
	すの	ごっこ遊び	観察なし

表1 12名の幼児の所定の行動項目についての観察結果

被験児	月齢	直接模倣						延滞模倣						ごっこ遊び					
		髪と	電	買	人	掃	鉄	髪と	電	買	人	掃	鉄	髪と	電	買	人	掃	鉄
		話	き	物	形	除	砲	話	き	物	形	除	砲	話	き	物	形	除	砲
A*	1:0	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
B*	1:0	☆	☆	☆	☆	☆	☆	○	☆	○	☆	○	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
C	1:2	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
D*	1:3	○	○	○	○	○	○	☆	☆	○	○	○	☆	☆	☆	○	☆	☆	☆
E	1:8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	○	☆	○	○	☆	☆
F*	1:8	○	○	○	○	○	○	☆	○	☆	☆	○	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
G*	1:9	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	☆	○	☆	☆	○	☆	☆	☆	☆
H	1:9	○	☆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	☆	○	○	☆	☆
I	1:10	○	☆	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆
J*	1:11	☆	☆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	☆	○	○	☆	☆	☆
K	1:11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	○	○	○	☆	☆
L	2:0	○	☆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	☆	☆	☆	○	○	☆	☆

○印は所定の行動が観察されたことを表し、☆印は所定の行動が観察されなかったことを示す

*印は男児

事例2 各行動項目における直接模倣、延滞模倣、ごっこ遊びの事例（K児の場合）

観	でカ	直接模倣	友だちが鏡の前でブラシを用いて髪をといっているのをみたK児は、友だちがブラシをおくの
	髪ガ	延滞模倣	をみてすぐにそのブラシを手にとって髪をとく。
	をミ	ごっこ遊び	翌日、タンスの上にある鏡をみつめてそれを指さし、「トッテ」という。すると保母が手渡した鏡をもって前日髪をといった場所について髪をとく。
察	のく前	直接模倣	観察なし
	電話	延滞模倣	受話器をもって話していた保母が話が終って受話器をおくとすぐに、「アッシー」と、い
	をする	ごっこ遊び	って受話器を催促し、その受話器を受け取ると、「ウン、モシモシ、アッシーヨ」と話す翌日、オモチャの受話器を使って、ダイヤルをぐるぐるまわし、「モシモシオカシャン、アッシーヨ、アイスカッテキテネ」と受話器を耳にあてて話をしている。
項	買	直接模倣	保母の側で救急車についているダイヤルをまわし、受話器をもつような動作をして、「モシモシ、アッシーヨオカシャン、センセイデンワ」といって保母に受話器を渡す真似をする。
	物を	延滞模倣	保母が他の園児と一緒に買いものごっこをしているのをみて、保母のもっている袋を取り
	する	ごっこ遊び	「センセ、イッショニイコ」と保母の手をとって買いものにいく動作をする。
目	つ人	直接模倣	翌日、買いものかごをぶらさげて、保母のところきて「コレコラサーイ」という。部屋を
	か形	延滞模倣	ぐるぐるまわって買いものにいく様子をしている。
	うをあ	ごっこ遊び	絵本が置いてあるところにすわり、「イラッサイ、イラッサイ」と言ってお店やさんになったつもりで、友だちに本をわたしている。
目	掃	直接模倣	動物のぬいぐるみを保母がタオルの上にねかせて「ゆりかごのうた」を歌っているのをみて、
	除を	延滞模倣	K児は自分の引出からタオルをとり、別のぬいぐるみを「ネンネコ」といってねかせる。
	する	ごっこ遊び	数日後、午睡のときに自分の布団にコアラ、サル、ネコのぬいぐるみを寝せて、とんとんと布団を叩いている。
目	を鉄	直接模倣	座布団の上に、サルのぬいぐるみを寝かせ「ゆりかごのうた」と歌をくちずさむ。側にきた友だちをみて、「シー、ネンネヨネンネシトート」とサルがねていることを伝える。
	砲の	延滞模倣	保母が雑巾で窓を拭いているのをみると、K児はだまって保母の雑巾をとってすぐに窓を拭く
	真似	ごっこ遊び	保母が机の上を拭いた後、片づけるのを忘れていた布巾をみつめて手にし、ガラスの窓ふききをおこなった。そのあと「キレキレニナッタヨ、アッシーシタト」と保母に報告する。
目	を鉄	直接模倣	観察なし
	砲の	延滞模倣	自由あそびのとき、保母が人さし指と親指で「バンバン」といって鉄砲を打つ真似をする。K
	真似	ごっこ遊び	児は保母と同じ手つきをしているように小指を曲げて鉄砲を打つしぐさをする。
目	を鉄	直接模倣	ブロック遊びのとき、「バンバンつくって」と保母にブロックを手渡す。保母につくってもら
	砲の	延滞模倣	ったブロック鉄砲で「バンバン、アッシーノバンバンヨ」といって打つ真似をする。
	真似	ごっこ遊び	観察なし